

平成30年2月

進路だより

兵庫県立伊川谷高等学校進路指導部

2年生

二月に入りました。3年生は一般入試に向けて、大詰めのがんばりをみせています。

さて、次はいよいよみなさんが「受験生」となる番です。受験生としての準備・心構えはできているでしょうか。

○強い動機を持つとう

「何としても、こんな業種のこんな職種の仕事をしたい!!」

「絶対に、〇〇大学、〇〇学部に進学したい!!」

これからの皆さんを支え励ましてくれるものは、こうした自分の目標に向かう強い「動機（情熱）」です。熱い思いは、くじけそうになる心を鼓舞してくれる強い味方です。

志望先がまだしっかり決まっていな人は、早急に進路について真剣に考え、目標を設定しておきましょう。

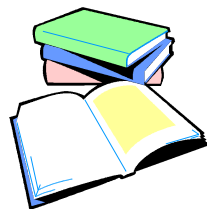
○ムリのない計画をたてて実行していこう

目標を決定したら、いつまでに何をすべきか、どのような勉強や準備を進めていけばよいのかをノートに書き出し、オリジナルの計画表を作って実行していきましょう。

まず最初にすべきことは、基礎力養成です。就職するにしても進学するにしても、高校生としての基礎学力がなければ話になりません。2年生の今のうちに、1・2年の内容を復習しておきましょう。特に苦手科目がある人は、早いうちから基本的な問題にあたり、苦手克服をスタートさせて、夏休みまでに基礎固めをしておいて下さい。

次に、今まで受けたスタディサポートや模擬試験で指摘された弱点や成績コメントを参考にし、今の自分の実力はどの程度かを確認して整理しておきましょう。

そうしておいて、具体的な目標を設定し、確実にステップア



ップできる計画を立てていきましょう。

計画をたてる時に注意すべき点としては、長期間にわたる細かい計画は立てないことでしょう。万一途中で予期しない出来事があって、計画通りの勉強が進まないことになっても、柔軟に修正できる計画にしておくことです。期間としては、せいぜい今から夏休みぐらいまでの設定が無難でしょうか。

また、週単位に科目ごとに具体的な勉強内容を設定するのも良いでしょう。その場合も、週末に予備日を設けるなどして、時間的に余裕を持った計画にしましょう。

「継続は力なり」。がむしゃらに無理な計画を立てても、結局長続きしません。就職試験は夏休み明け、推薦入試は秋、そして一般入試は一年先です。あせらず、継続できる計画を立てて、必ず実行していきましょう。

※三月には就職指導が始まります

三月中に就職を希望している人（公務員を含む）に対しての説明会があります。

この『進路だより』でも再三にわたり紹介してきましたが、就職希望者は進学希望者に比べてかなり早い時期から、具体的な動きが出てきます。

そこで、就職への意識をしっかりと持ってもらいたいことや、家庭で相談しておいてほしいこと、3年生になってからの就職指導の計画など、少しでも早い段階から理解・了解しておいてほしい内容を説明するわけです。

就職にするのか進学にするのか、進路希望がまだはっきり決まっていな人は、今のうちに各家庭でしっかりと話をし、遅くとも今月中には決めておいて下さい。

1年生

本校では、例年8割近くの人が現役で大学・短大・専門学校に進学しています。（全国的にも、全日制・定時制の高校で7割以上の者が進学しています）

こうした状況ですから、多くの1年生諸君にとっては、「進路を考えること」≒「進学を考えること」となっていて、「就職」はずっと先の話、「働く自分」は今の自分には想像もできないまだまだ遠い存在になっているのではないでしょうか。

しかし、多額の費用と時間をかけて上級学校に進学するのは、

そもそも何のためなのでしょう。

みんなが行くから？。まだまだ遊び足りないから？。自分さがし？。中にはそんな理由の人もいるでしょうが、本来、上級学校への進学は、高度で専門的な知識や技能を習得して将来の仕事の糧とするため、つまり上級学校の先にある「就職」を見ずえてのことなのです。

昨年の秋、具体的にどんな勉強をしたいのかよく分からないまま、とりあえず大ざっぱに文系・理系を選択した人も多いと思います。勉強に向かう自分の姿勢も今一つだなあと自覚している人もいないのでしょうか。

そんな人は、社会に出て働く5年後、10年後の「なりたい自分の姿」をイメージしてみてはどうでしょうか。社会人として働くためにどうすればよいか、それまでに何を身につけておくべきかと、将来の望ましい自分から現在までを「逆算」して見つめることで、やる気も生まれてくるのではないのでしょうか。



もちろん、高校卒業時に就職すると考えている人にとっては、数年後の社会人としての自分を意識することは、進学希望者以上に大事なことです。「学校」という場所できちんと学ぶ機会は、就職した後はきわめて少なくなります。そう考えると、今の自分に与えられた学習の機会を充実したものにしていこうという意欲が、きっと強く湧いてくることでしょう。



昨年の『進路だより』で、『(1年生から2年生にかけては)就職希望者・進学希望者ともに、進路に向けた情報収集をしていく段階。ネットや進路室の資料を利用して、世の中にあるさまざまな職業について調べ、どのような進路を選択すれば、希望する職業に就ける可能性が高いか調べてみましょう。』と書いておきました。

勉強がおろそかになりがちな人。ぜひ、将来の自分のなりたい姿を思い描きましょう。こんな仕事に就きたい。あんな仕事もいいなあ。自分の就きたい(憧れも含めての)仕事に関する事を調べる過程で、きっと勉強に対するモチベーションが高まってくるはずですよ。

